

## 北陸新幹線の整備促進について

北信越部会提出  
説明担当 福井市

北陸新幹線の整備は、高速交通体系の中軸として日本海側の国土軸を形成するネットワークを完結することで、国土の強靱化を進めるとともに、地方創生や沿線地域の活性化に寄与し、国土の均衡ある発展に極めて大きな効果をもたらすものです。

平成29年3月には与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームによる敦賀から新大阪間の全区間のルートが決定し、令和元年5月には駅・ルートの詳細調査の結果等を含む計画段階環境配慮書が、同年11月には環境影響評価の項目や方法をまとめた方法書が公表されたところです。

しかしながら、北陸新幹線の開業効果を早期に発現させるためには、昨今の新型コロナウイルス対策における国の財政出動に影響されることなく、建設財源を確実に確保するとともに、令和5年3月末敦賀開業後の切れ目のない整備と、新大阪までの早期開業が必要であります。

つきましては、下記の事項について要望します。

### 記

- 1 令和5年3月末の敦賀開業に向け、必要な予算の確保も含め着実に整備を進めること
- 2 敦賀以西についても、建設財源を早期に確保し、敦賀から新大阪間の環境影響評価を沿線地域の意見を踏まえながら迅速かつ着実に進めるとともに、敦賀開業後も切れ目のない整備を行い、令和13年3月までに新大阪までの全線開業を実現すること
- 3 敦賀開業時の北陸圏と関西・中京圏とのアクセスについては、在来特急列車の運行本数の維持・拡大、所要時間の短縮等利便性の向上を図ること